

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 29日

協議会名: 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	大宮営業所～中瓜連～水戸駅 線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・水戸市・那珂市・常陸大宮市 と連携し、中学3年生へ定期券 案内チラシの配布(R6.02) 2,968部 ・バスロサービスの周知活動 ・その他:常陸大宮市高齢者免 許証自主返納者に対するバス 運賃助成制度の継続実施 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 23.0人 ○収支率 41.63% ○収入増 480千円/年 ○輸送人員 1,705人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 26.6人(+3.6人) ○収支率 39.50% (△5.12%) ○収入 21,423千円(+21.11%) ○輸送人員 69,910人(+12.92%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	浜田営業所～石塚車庫～御前 山車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握 するとともに、引き続き利用促進策 を実施。 ・茨城大学生が企画した観光周遊 に関する企画乗車券を城里町道の 駅と連携し、継続発売(HP掲載) ・城里町との連携で沿線中学生へ のチラシの配布 ・城里町全戸、常陸大宮市沿線地 区へチラシの配布・城里町との連 携で城里コミュニティセンターにて ICカードの出張販売を実施(月1 回) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連 携し、中学三年生へ定期券案内チ ラシの配布(R6.02)2,625部 ・城里町町民まつりでバスの乗り方 教室を開催、時刻表の配布(R 5.11) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 40.1人 ○収支率 61.86% ○収入増 780千円/年 ○輸送人員 2,560人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 44.6人 (+4.5人) ○収支率 63.45% (+2.57%) ○収入 52,371千円 (+17.70%) ○輸送人員 155,510人 (+7.19%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	太田営業所～小中車庫～里川 入口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握 するとともに、引き続き利用促進策 を実施。 ・マイ時刻表・バスマップの継続配 布 ・路線バスツアーの実施(R5.11里 美地区 2回) ・常陸太田市と連携し、各小学校で の乗り方教室(R5.11月～R6.2月実 施) ・常陸太田市・日立市と連携し、中 学3年生へ定期券案内チラシの配 布(R6.02)1,548部 ・常陸太田市との連携で、中学生 向け年間フリー乗車券の配布(約 860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を 実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・その他:常陸太田市75歳以上高 齢者の運賃半額助成制度の継続 実施 ・その他:常陸太田市運転免許証 自主返納者に対するバス運賃助 成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市高校生に対 する通学定期券助成制度 ・一部ダイヤ減便(R6.04)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	C 【目標】 ○1日当り輸送量 10.5人 ○収支率 19.25% ○収入増 450千円/年 ○輸送人員 2,091人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 9.6人 (△0.9人) ○収支率 11.85% (△38.44%) ○収入 5,527千円 (△11.01%) ○輸送人員 26,187人 (△8.90%) すべての項目で目標には届かなかった。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～桜ノ牧高校前～水戸 医療センター線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・水戸市・茨城町と連携し、中 学三年生へ定期券案内チラシ の配布(R6.02)2,467部 ・高校・大学での定期券出張販 売を実施(R6.04) ・沿線施設への時刻表設置依 頼(水戸医療センターに隣接す る薬局等) ・バスロケサービスの周知活動 ・日祝ダイヤのみ一部ダイヤ減 便(R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 48.7人 ○収支率 60.64% ○収入増 420千円/年 ○輸送人員 1,682人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 58.8人 (+10.1人) ○収支率 70.12% (+15.63%) ○収入 31,789千円 (+36.48%) ○輸送人員 113,674人 (+21.99%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	茨大前営業所～アクアワール ド大洗～那珂湊駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・茨城大学生が企画した観光 周遊に関する企画乗車券を、 継続発売(HP掲載) ・水戸市・ひたちなか市と連携 し、中学三年生へ定期券案内 チラシの配布(R6.02)3,543部 ・高校・大学での定期券出張販 売を実施(R6.04) ・大洗町のイベントにてチラシ の配布(R5.11、R6.3) ・水戸市と連携し稲荷第一小学 校にてバスの乗り方教室を開 催 (R5.10) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便 (R5.10、R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 66.6人 ○収支率 69.89% ○収入増 830千円/年 ○輸送人員 3,050人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 79.8人 (+13.2人) ○収支率 80.98% (+15.87%) ○収入 67,872千円 (+24.98%) ○輸送人員 219,077人 (+10.90%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	茨大前営業所～東大野～平磯 中学校下線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・水戸市・ひたちなか市と連携 し、中学三年生へ定期券案内 チラシの配布(R6.02)3,543部 ・高校・大学での定期券出張販 売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便 (R5.10・R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 48.6人 ○収支率 56.42% ○収入増 750千円/年 ○輸送人員 3,228人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 53.0人 (+4.4人) ○収支率 64.15% (+13.70%) ○収入 43,926千円 (+14.58%) ○輸送人員 166,242人 (+0.95%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～旭台団地入口～友部 駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依 頼 ・水戸市・笠間市と連携し、中 学三年生へ定期券案内チラシ の配布(R6.02)2,777部 ・沿線施設の茨城歯科専門学 校や鯉淵学園での定期券出張 販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 20.9人 ○収支率 50.95% ○収入増 280千円/年 ○輸送人員 1,328人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 25.5人 (+4.6人) ○収支率 59.24% (+16.27%) ○収入 18,556千円 (+44.94%) ○輸送人員 75,989人 (+25.39%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	赤塚駅南口～桜の牧高校前～ 水戸医療センター線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・水戸市・茨城町と連携し、中 学三年生へ定期券案内チラシ の配布(R6.02)2,467部 ・沿線施設への時刻表設置依 頼(水戸医療センターに隣接す る薬局等) ・高校・大学での定期券出張販 売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 18.9人 ○収支率 35.93% ○収入増 140千円/年 ○輸送人員 593人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 18.0人 (△0.9人) ○収支率 36.48% (+1.53%) ○収入 5,252千円 (+20.12%) ○輸送人員 18,141人 (+0.57%) 輸送量以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～赤塚駅～イオンモー ル水戸内原線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・水戸市と連携し、中学三年生 へ定期券案内チラシの配布 (R6.02)2,187部 ・イオンモール水戸内原店舗内 へ時刻表の掲出依頼 ・水戸市と連携し堀原小にてバ スの乗り方教室を開催(R6.06) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 52.0人 ○収支率 68.28% ○収入増 440千円/年 ○輸送人員 2,007人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 66.9人 (+14.9人) ○収支率 75.73% (+10.91%) ○収入 38,401千円 (+35.38%) ○輸送人員 157,788人 (+24.35%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成 した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～石塚車庫～野口車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・茨城大学生が企画した観光周遊に関する企画乗車券を城里町道の駅と連携し、継続発売(HP掲載) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,625部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・城里町との連携で城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売を実施(月1回) ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R5.11) その他:常陸大宮市高齢者免許返納事業継続中 ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 38.2人 ○収支率 77.73% ○収入増 470千円/年 ○輸送人員 1,345人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 44.1人(+5.9人) ○収支率 81.99%(+5.48%) ○収入 42,195千円(+21.37%) ○輸送人員 106,898人(+9.35%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～国田局前～下江戸線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・那珂市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,671部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 15.5人 ○収支率 50.06% ○収入増 160千円/年 ○輸送人員 692人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 16.5人(+1.0人) ○収支率 45.55%(△9.01%) ○収入 8,358千円(+12.04%) ○輸送人員 31,474人(+1.60%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	茨大前営業所～勝田駅前～勝田営業所線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・ひたちなか市内の各種イベント(産業交流フェア、TAMARIBA横丁など)に参加しチラシを配布 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・商業施設でらくがきバスを実施しチラシを配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R6.03) ・市内高校にて定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R5.10・R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 31.1人 ○収支率 67.03% ○収入増 300千円/年 ○輸送人員 1,482人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 31.9人(+0.8人) ○収支率 77.82%(+16.10%) ○収入 19,854千円(+6.32%) ○輸送人員 85,542人(△6.76%) 輸送人員以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～市毛十字～笠松運動公園前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・企業向け通勤定期券の案内書を送付を実施(R06.02) ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R05.03) ・県立高校にて定期券出張販売を実施(R06.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 24.6人 ○収支率 72.09% ○収入増 120千円/年 ○輸送人員 412人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 39.0人(+14.4人) ○収支率 99.65%(+38.23%) ○収入 13,788千円(+64.99%) ○輸送人員 36,866人(+34.11%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～河和田小学校～ 水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,187部 ・沿線施設の茨城歯科専門学校や鯉淵学園での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 30.0人 ○収支率 67.42% ○収入増 220千円/年 ○輸送人員 1,085人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 40.9人(+10.9人) ○収支率 87.62%(+29.96%) ○収入 22,250千円(+57.75%) ○輸送人員 92,528人(+37.12%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～若林～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,187部 ・沿線施設の茨城歯科専門学校や鯉淵学園での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 15.9人 ○収支率 73.29% ○収入増 110千円/年 ○輸送人員 484人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 18.7人(+2.8人) ○収支率 81.32%(+10.96%) ○収入 10,010千円(+33.18%) ○輸送人員 38,710人(+17.74%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～飯富～石塚車庫線の 運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・城里町との連携で沿線中学生への時刻表チラシの配布 ・水戸市・城里町と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,328部 ・城里町との連携で町内全戸へ時刻表チラシの配布(R6.03) ・城里町との連携で城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売を実施(月1回) ・高校、大学で定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ増便(R6.04) ・運賃改定(R6.04)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 36.4人 ○収支率 80.57% ○収入増 320千円/年 ○輸送人員 1,191人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 48.6人(+12.2人) ○収支率 87.60%(+8.73%) ○収入 34,733千円(+42.70%) ○輸送人員 112,475人(+25.86%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	太田営業所～竜神大吊橋～馬次入口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・路線バスツアーの実施(R5.11水府地区 1回) ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・常陸太田市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)278部 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・その他:常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 4.3人 ○収支率 15.88% ○収入増 200千円/年 ○輸送人員 823人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 4.9人(+0.6人) ○収支率 10.75%(△32.30%) ○収入 2,402千円(+11.46%) ○輸送人員 9,239人(+8.40%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	馬場八幡前～大橋～大甕駅西 口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市高齢者助成制度として高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・マイ時刻表・バスマップの継続配布(常陸太田市) ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・常陸太田市・日立市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)1,548部 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 38.0人 ○収支率 40.69% ○収入増 590千円/年 ○輸送人員 1,918人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 26.6人(△11.4人) ○収支率 33.04%(△7.65%) ○収入 15,898千円(△23.70%) ○輸送人員 55,056人(△18.50%) <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	馬場八幡前～はたそめ入口 ～真弓ヶ丘～大甕駅西口線の 運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市高齢者助成制度として高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・マイ時刻表・バスマップの継続配布(常陸太田市) ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・常陸太田市・日立市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)1,548部 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 47.4人 ○収支率 42.06% ○収入増 740千円/年 ○輸送人員 2,699人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 45.3人(△2.1人) ○収支率 38.92%(△7.47%) ○収入 26,515千円(△2.87%) ○輸送人員 100,380人(△1.66%) <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	日立駅中央口～砂沢～十王駅前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・定期券購入者増に向けた取り組みとして新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 18.7人 ○収支率 62.58% ○収入増 170千円/年 ○輸送人員 819人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 18.7人(+0.0人) ○収支率 55.92%(△10.64%) ○収入 10,816千円(+9.49%) ○輸送人員 50,008人(+6.53%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	日立駅中央口～国道6号～十王駅前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・定期券購入者増に向けた取り組みとして新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・R6.04より経路変更、JR小木津駅を經由し、利便性を向上させた ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 17.9人 ○収支率 55.31% ○収入増 200千円/年 ○輸送人員 891人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 20.8人(+2.9人) ○収支率 50.22%(△9.20%) ○収入 12,352千円(+22.61%) ○輸送人員 54,385人(+22.72%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況			⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東鉄道株 水戸駅～石岡駅	水戸駅～奥ノ谷～石岡駅の運 行	・土日祝日限定一日乗車券を発売 し、利用の少ない土日祝日の利用 促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促 進を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 輸送人員 輸送量 運送収入 経常収支率 運送収入減少の要因は、通学需要と遠距離利用の減少が考 えられる。	(目標) 559人増 22.8人 248千円増 79.2%	(実績) 15,300人増 20.8人 1,094千円減 68.7%	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。
関東鉄道株 筑波山口～土浦駅	筑波山口～土浦一高前～土浦 駅西口の運行	・宝篋山ハイキングモデルコースを 設定、ホームページでPRし、観光 需要の掘り起こしを行った。 ・車内に自転車を持ち込めるつくば 霞ヶ浦りんりんバスを運行し、サイ クリング需要の掘り起こしを行っ た。 ・沿線高校の新入生に対し、IC金 額式定期券の利便性をPRする説 明会を開催した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 輸送人員 輸送量 運送収入 経常収支率 輸送人員減少の要因は通勤・通学定期利用者の減少が考え られる。	(目標) 1,641人増 39.4人 350千円増 52.6%	(実績) 38,541人減 45.9人 6,865千円増 61.6%	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。
関東鉄道株 みどりの駅～土浦駅	みどりの駅～農林団地中央・ 学園並木～土浦駅西口の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売 し、利用の少ない土日祝日の利用 促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促 進を行った。 ・沿線高校の新入生に対し、IC金 額式定期券の利便性をPRする説 明会を開催した。 ・水海道駅～土浦駅線との路線統 合を実施した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 輸送人員 輸送量 運送収入 経常収支率	(目標) 380人増 14.6人 113千円増 38.4%	(実績) 42,003人増 27.0人 8,503千円増 46.7%	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。
関東鉄道株 岩井バスターミナル～守谷 駅	岩井バスターミナル～きぬの 里～守谷駅西口間の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売 し、利用の少ない土日祝日の利用 促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促 進を行った。 ・沿線の茨城県自然博物館と連携 した企画乗車券を発売し利用促進 を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 輸送人員 輸送量 運送収入 経常収支率 輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便 を行ったため。	(目標) 607人増 24.1人 180千円増 69.4%	(実績) 4,544人減 28.5人 4,507千円増 72.6%	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況			⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)														
関東鉄道㈱ 藤代駅～自由ヶ丘団地	藤代駅～自由ヶ丘団地の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・運送需要に見合ったダイヤの見直しを行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table><thead><tr><th></th><th>(目標)</th><th>(実績)</th></tr></thead><tbody><tr><td>輸送人員</td><td>253人増</td><td>7,373人減</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>14.6人</td><td>10.7人</td></tr><tr><td>運送収入</td><td>57千円増</td><td>1,062千円減</td></tr><tr><td>経常収支率</td><td>63.2%</td><td>60.5%</td></tr></tbody></table> 運送収入の減少は、一人平均乗車キロや定期外利用の減少に伴う単価減によるものと考えられる。		(目標)	(実績)	輸送人員	253人増	7,373人減	輸送量	14.6人	10.7人	運送収入	57千円増	1,062千円減	経常収支率	63.2%	60.5%	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																			
輸送人員	253人増	7,373人減																			
輸送量	14.6人	10.7人																			
運送収入	57千円増	1,062千円減																			
経常収支率	63.2%	60.5%																			
関東鉄道㈱ 牛久駅～みどりの駅	牛久駅～桜ヶ丘団地～みどりの駅の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・運送需要に見合ったダイヤの見直しを行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table><thead><tr><th></th><th>(目標)</th><th>(実績)</th></tr></thead><tbody><tr><td>輸送人員</td><td>1,473人増</td><td>1,742人減</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>56.2人</td><td>66.2人</td></tr><tr><td>運送収入</td><td>353千円増</td><td>8,325千円増</td></tr><tr><td>経常収支率</td><td>67.0%</td><td>71.7%</td></tr></tbody></table> 輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。		(目標)	(実績)	輸送人員	1,473人増	1,742人減	輸送量	56.2人	66.2人	運送収入	353千円増	8,325千円増	経常収支率	67.0%	71.7%	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																			
輸送人員	1,473人増	1,742人減																			
輸送量	56.2人	66.2人																			
運送収入	353千円増	8,325千円増																			
経常収支率	67.0%	71.7%																			
関東鉄道㈱ 取手駅～谷田部車庫	取手駅西口～高岡～谷田部車庫の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・土日祝日ダイヤについて、利用実態に合わせた便数を設定し、路線収支の改善を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table><thead><tr><th></th><th>(目標)</th><th>(実績)</th></tr></thead><tbody><tr><td>輸送人員</td><td>634人増</td><td>11,194人減</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>19.6人</td><td>20.7人</td></tr><tr><td>運送収入</td><td>185千円増</td><td>1,444千円増</td></tr><tr><td>経常収支率</td><td>32.6%</td><td>44.2%</td></tr></tbody></table> 輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。		(目標)	(実績)	輸送人員	634人増	11,194人減	輸送量	19.6人	20.7人	運送収入	185千円増	1,444千円増	経常収支率	32.6%	44.2%	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																			
輸送人員	634人増	11,194人減																			
輸送量	19.6人	20.7人																			
運送収入	185千円増	1,444千円増																			
経常収支率	32.6%	44.2%																			
関東鉄道㈱ 荒川沖駅～県立医療大学	荒川沖駅東口～東京医大茨城医療センター～県立医療大学の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・土日祝日ダイヤについて、利用実態に合わせた便数を設定し、路線収支の改善を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table><thead><tr><th></th><th>(目標)</th><th>(実績)</th></tr></thead><tbody><tr><td>輸送人員</td><td>635人増</td><td>15,486人減</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>29.3人</td><td>31.8人</td></tr><tr><td>運送収入</td><td>123千円増</td><td>1,890千円増</td></tr><tr><td>経常収支率</td><td>63.8%</td><td>81.4%</td></tr></tbody></table> 輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。		(目標)	(実績)	輸送人員	635人増	15,486人減	輸送量	29.3人	31.8人	運送収入	123千円増	1,890千円増	経常収支率	63.8%	81.4%	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																			
輸送人員	635人増	15,486人減																			
輸送量	29.3人	31.8人																			
運送収入	123千円増	1,890千円増																			
経常収支率	63.8%	81.4%																			

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況			⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東鉄道(株) 竜ヶ崎駅～取手駅	竜ヶ崎駅～光風台団地入口～ 取手駅の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道(株) 鹿島神宮駅～銚子駅	鹿島神宮駅～神栖済生会病院～ 銚子駅の運行	・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道(株) つくばセンター～水戸駅	つくばセンター～石岡～水戸駅 南口の運行	・ICカード利用者に対する割引運賃の実施を行った。 ・沿線施設でのイベント開催時における利用促進広告を掲示した。 ・水戸京成百貨店と貨客混載の業務提携を行い、収益力の強化を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道(株) 柿岡車庫～石岡駅	柿岡車庫～林～石岡駅の運行	・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道(株) 柿岡車庫～土浦駅	柿岡車庫～上志筑～土浦駅西 口の運行	・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況			⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
関東鉄道(株) 鉾田駅～水戸駅	鉾田駅～海老沢～水戸駅の運 行	・土日祝日限定IC一日乗車券の発 売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車 券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	B	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。	
					輸送人員	579人増		9,905人増
					輸送量	17.0人		16.0人
					運送収入	180千円増		57千円減
					経常収支率	90.6%		71.4%
					運賃改定による利用者の減少及び関東鉄道に合併したこと による費用単価増が考えられる。			
関東鉄道(株) 茨城空港～水戸駅	茨城空港～桜木三差路～水戸 駅の運行	・土日祝日限定IC一日乗車券の発 売を行った。 ・茨城空港「空の日」イベントに参 画し路線をPRを実施した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗 車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	A	(目標)	(実績)	・沿線自治体や施設との連携を密 にし、効果的な利用促進策を実施 する。 ・ICカード利用データ等を活用し利 用実態を把握したうえで効率的な 運行ダイヤを設定する。	
					輸送人員	615人増		8,358人増
					輸送量	16.7人		21.5人
					運送収入	155千円増		5,930千円増
					経常収支率	72.5%		78.6%

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～友愛記念病院	古河駅東口～古河第一高校前 ～友愛記念病院の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率40.7%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は0.9%増の41.6%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～八千代町役場	古河駅東口～牛ケ谷～八千代町役場の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率62.2%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は1.1%増の63.3%に改善。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～牛ケ谷～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率66.8%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は0.8%減の66.0%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～丘里工業団地～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率76.0%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は11.3%減の64.7%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車(株) 系統:岩井線	野田市駅～下町～岩井車庫の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率81.5%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は0.5%減の81.0%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えて目標の達成を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
朝日自動車(株) 境車庫～古河駅西口	境車庫～釈迦～古河駅西口の 運行	①令和5年9月～10月と令和6 年3月～4月の共通学生フリー パス販売時期に合わせ沿線学 校や、自社ホームページ及び バス車内で周知し、販売促進 を図った。 ②茨城西南医療センターへの 路線延伸について関係自治体 と検討したが未実施。	B 一部の事業が計画に位置 づけられたとおり実施する ことができなかった。	B 輸送人員目標114,303人に対して実績は107,521 人となり目標未達成となった。 未達成理由として、外国人の通勤客の減少が理 由と考えられる。	・引き続き共通学生フリーパス の販売促進を図る。 ・運行本数、運行時間の見直し を行う。
朝日自動車(株) 五霞町役場前～幸手駅	〔起点〕 五霞町役場前 〔主な経由地〕 桜まつり会場(まつり開催時) 〔終点〕 幸手駅	①桜まつりが開催され、多くの お客様にご乗車いただいた。ま た、桜以外の季節の花を目当 てにしたお客様にご乗車いた だいた。 ②渋滞が発生し、定時運行に 大きな影響が出た。 ③令和5年11月、五霞町のイ ベントに合わせて乗り方教室を 実施した。 ④令和7年2月に橋梁架け替 え工事に伴う迂回運行に合わ せ、利用実態に合わせたダイ ヤ改正を実施予定。 ⑤令和7年2月より数年間にわ たり、橋梁架け替え工事による 迂回運行を実施予定。	A 事業が計画に位置付けら れた通り、適切に実施され た。	A 輸送人員目標49,768人に対して実績は57,820人 となり目標を達成した。 達成理由として、新型コロナウイルス感染症によ り離れていた利用者が回復基調にあることと、権 現堂の桜や紫陽花等の観覧を目的とした観光利 用者も増加したことが理由と考えられる。	・桜まつり開催時は渋滞が発 生するため、関係各所と連携し バスの定時性確保を図り利用 増に繋げる。 ・バスの乗り方教室を実施し需 要の掘り起しを図る。 ・橋梁架け替え工事に伴う迂回 運行と、それに合わせ利用実 態に合わせたダイヤ改正の実 施。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月 日

協議会名：	茨城県地域交通政策推進協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	可住地面積が広い本県では、生活圏は市町村を越えて広域化しており、教育や商業、医療の施設が存在する広域行政圏の中心市町村等への交通手段は、住民の日常生活に欠かせないものとなっている。バス路線の存続が危機に瀕している地域において、自家用車を自ら運転できない移動制約者等の交通手段を確保する必要があることから、広域行政圏の中心市町村等へアクセスする路線に対し、地域公共交通確保維持事業による補助制度を活用し、路線の存続を図る。